

ICT 活用授業報告 酒田市立第二中学校 2 年 英語

Unit4 Homestay in the United States



日 時：令和 5 年 10 月 5 日（木）13：15～14：05

場 所：酒田市立第二中学校

対 象：2 年

授業者：佐々木 恵巳 教諭

1 主に活用した機器・コンテンツ

・ 1 人 1 台端末（Chromebook） ・ 指導者用デジタルブック ・ 大型提示装置 ・ ロイロノート・スクール

2 授業

（1）本時の目標

ホームステイ先のウィルソン老夫妻に配慮した提案や表現方法を考え、英語で伝えあうことができる。

（2）ICT を活用した指導過程

ホームステイ先でのある夜、テレビ等電子機器が一切無い状態で、ウィルソン老夫妻に、文化的背景に配慮しながら、何かしないかと提案するという状況を設定した。提案のために内容を振り返ったり、グループ活動を行ったりする。また、思考・判断・表現の記録に残す評価として、「What's important in a homestay?」の回答を収集する。

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器等	情報活用能力※2
導入 5 分	●1 minute talk その時の話題に応じて 生徒同士で 1 分会話	楽しく積極的に英語で会話できることが目的。文法的な指示や間違いの指摘は行わない。		
展開 1 10 分 一斉 A 1	●電子機器が一切無い状況を自分事にするための内容の振り返り 	○ICT 活用ポイント 1 全員の共通認識を促し内容の振り返りを行うため、指導者用デジタルブックで、強調しつつ音声で読み上げる機能を活用する。	・ 指導者用デジタルブック ・ 大型提示装置	A 2 ①a ステップ 2 調査や資料等による基本的な情報の収集の方法
展開 2 25 分 協働 C 1 C 2	●ウィルソン老夫妻に配慮した提案のグループ活動 	○ICT 活用ポイント 2-① 効率的な共有を図るため、ロイロノート・スクールで、グループで話し合ったことを整理して、まとめ、発表する。	・ ロイロノート・スクール ・ 大型提示装置	B 1 ②ステップ 2 情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す
まとめ 評価 10 分 個別 B 1	●今までの単元を通した活動や本時の活動を通して「What's important in a homestay?」に対する回答を作成・提出	○ICT 活用ポイント 2-② 生徒の気づきを促したり、効率的な回答収集を図るため、ロイロノート・スクールで、個別に回答を作成させた後、特徴的な回答を共有する。 	・ ロイロノート・スクール ・ 大型提示装置	B 1 ②ステップ 2 情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す

※1 アルファベットや数字の記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 アルファベットや数字の記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例（IE-School）における指導計画を基にステップ別に整理したもの】（令和元年度版）全体版」に基づく表記を示す。

3 ICT活用ポイント

ICT活用ポイント1 (指導者用デジタルブック)

A1 教員による教材の提示

指導者用デジタルブックの読み上げている箇所を強調しつつ音声で読み上げる機能を活用することにより、教科書の内容の振り返りを効果的に行う。また、これを次のグループ活動につなげる。

(1) 指導者用デジタルブックを大型提示装置で表示させる。

(1) **大型提示装置による表示** ※下記は指導者用デジタルブックの読み上げ機能を表したもので、教科書本文とは無関係です。

Yamagata Prefecture is located on the Sea of Japan side of the Tohoku region, approximately 300 km north of Tokyo and about 3 hours away by the Yamagata

Shinkansen bullet train. It is generally known for its cherries, which account for 70% of the total production in Japan, and its vivid four seasons.

Surrounded by the beautiful mountains of Z Asahi, which are . . .

読み上げている箇所が赤、これから読み上げる部分が青で表示され、強調している。

ICT活用ポイント2-① (ロイロノート・スクール)

C1 発表や話し合い

C2 協働での意見整理

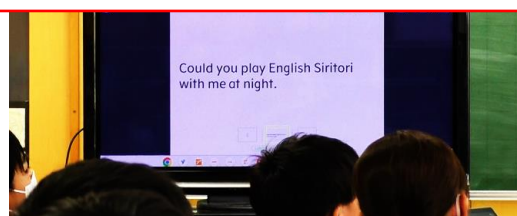
ウィルソン老夫妻に提案するために、グループで話し合う。そこで効率的な意見共有を図るため、1人1台端末で検索等しながらロイロノート・スクールでグループで話し合ったことを整理して、まとめ、全員で共有する。

- (1) 4人程度のグループに分かれ、適切な単語を検索したり、話し合いをしたりする。意見を整理し、ロイロノート・スクール上で提出する。
- (2) 授業者がグループ毎に大型提示装置で読み上げ、配慮がある点を挙げながら、効率的な意見共有を図る。

(1) **班ごとの話し合い、意見整理**



(2) **大型提示装置を用いた発表により、効率的な意見共有**



ICT活用ポイント2-② (ロイロノート・スクール)

B1 個に応じる学習

今までの単元を通した活動や本時の活動を通して「What's important in a homestay?」に対する自分の回答を作成する。生徒に気づきを促したり、個別の考えを回答した後、特徴的な回答を共有し、自分とは異なる考えに触れる機会を作る。この回答により評価する。

- (1) 個別で1人1台端末で適切な単語を検索し、思考し、ロイロノート・スクール上で各自の回答を提出する。
- (2) 授業者が、特徴的な回答をピックアップ、回答者に大型提示装置を用いて解説を促し、良い点を挙げながら、全体に気づきを促し、効率的な他者参照の機会を設定する。

(1) **個別で、検索し、思考し、提出**



(2) **提出された回答を一覧表示、効率的な他者参照の機会**

